

平成27年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立大森高等学校			定時制課程		基	教育課程の特徴		国際理解を中心とした学校設定科目を設置している他、人権学習など特色ある学校行事を実施し、国際理解教育・人権教育を推進しています。																			
		誰もが安心して学ぶことができる学校 －互いを尊重し協力し合い充実した高校生活を送りましょう－						進路指導	実績	4年制 大 学	6%	短 期 大 学	0%	専 門 学 校	3%	就 職	51%	その他	40%										
基本情報	所在地	〒144-0051 大田区西蒲田二丁目2番1号			電話番号	03-3753-3161		本	主な部活動		野球(22全国大会出場)、男子バスケット(22都春季大会3位、21全国大会出場、20都大会優勝)、テニス、卓球、バドミントン、軽音楽、パソコン、ワンダーフォーゲル、国際交流																		
	アクセス	(1) JR京浜東北線蒲田駅下車徒歩15分 (2) 東急池上線池上駅下車徒歩8分 (3) JR大森駅西口より東急バス蒲田駅又は池上駅行き(約10分) 堤方橋下車徒歩5分					学校評価		満足度(生徒73.9%、保護者92.9%)、授業がわかりやすい54.6%、適切な生活指導60.5%																				
	学 科	普通科					入学選抜		募集 人 員		60人(男女問わず)																		
	在 生 徒 数	普通科104人(男子73人、女子31人)					その他		その 他 特 徴		作文、面接																		
	そ の 他	平成19・20年度文部科学省人権教育研究指定校			校 服	指定なし			主な学校行事		文化祭(11月)、人権学習(7月・3月)、遠足(9月)、修学旅行(4学年、6月)、進路ガイダンス(各学期1回)																		
目指す学校		生活規律・授業規律を重視し、誰もが安心して学べる学習環境を確保するとともに、地域に根ざし、地域に信頼される学校。 生徒一人ひとりのニーズを的確に把握し、必要な教育・支援を適切に行い、自立や社会参加に必要な資質と能力を育てる学校。													ホムペ		http://www.omori-h.metro.tokyo.jp/												
今年度の重点目標															今年度の取組と自己評価														
目標①	学力向上 ・組織的な学力分析、校内研修等を通して生徒一人ひとりの学力の実態に対応した指導・評価の改善を図る。 ・家庭、中学校等と連携し、情報収集を図り、特別な教育的支援の必要な生徒に適切な指導・支援を行う。 ・個に応じた学力補充指導を年間を通して実施する。						○入学時の国・数・英の学力分析、7月及び12月の定期考査結果等を踏まえて、学力分析、校内研修等を通して生徒一人ひとりの学力の実態に対応して組織的な指導・評価の一層の改善を図った。 ○家庭・中学校からの情報収集、スクールカウンセラーを交えて発達障害に関する校内研修を実施し、特別な配慮の必要な生徒に適切な指導・支援を行う。個に応じた指導・評価の改善について共通理解を図った。 ○欠席の多い生徒に対して、組織的に学習習慣形成指導を実施した。																						
目標②	進路実現 ・キャリア教育全体計画に基づき、進路指導部と学年、教科、外部機関等との連携を強化し、進路指導・キャリア教育を推進する。 ・生徒のニーズに沿った進路情報提供とガイダンス体制を強化し、進路準備の講習、個別指導を充実させる。 ・職業や社会生活に対する理解を深めさせ、進路実現を図る。						○学年と進路指導部がハローワーク引率による就労支援や企業・NPO等と連携した社会的・職業的自立教育プログラムを実施した。また、ジョブサポーターと連携して就職希望者に対する継続的な指導を実施した。 ○進路情報提供、ガイダンス体制を強化し、個別の指導の充実を図るとともに、家庭との連携を深めて4年の未成年生徒保護者との進路面談を実施した。 ○外部機関との連携、就労支援を拡充し、職業や社会生活に対する理解を深めさせ、進路実現を図った。																						
目標③	特別活動の活性化 ・特別活動を活性化させ、人間関係や社会性を育み、学校への帰属意識を高める。 ・生徒会を主体とした学校行事運営の工夫と内容の充実を図り、生徒の学校行事参加率を向上させる。 ・部活動の活性化のために、活動日と大会参加の機会を増やす。						○生徒会を主体とした行事運営と内容の充実を図り、昨年度と同様の高い参加率であった。学校評価でも行事については肯定的傾向が見られた。 ○部活動推進週間の参加を徹底し、加入促進を図った。一部の部活動で年間を通して活発に活動したが、夜間での屋外の部活動は2学期以降は低調だった。 ○学校評価では生徒会活動、部活動については否定的回答が多かった。生徒を主体とした生徒会活動、部活動の活性化を図ることが重要である。																						
数値目標	今年度の数値目標の内容						24年度		25年度		26年度		今年度		28年度	29年度	30年度												
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績													
	目標①	学校評価アンケートにおいて、生徒の「学力がついたと感じる」を60%以上					65%	63.1%	65%	48.7%	60%	56%	60%	56%	65%	65%	70%												
	目標②	卒業生の進路決定率を65%以上					50%	52.9%	60%	60.7%	60%	60%	65%	93%	65%	65%	70%												
	目標③	部活動加入率を60%以上					60%	50.0%	60%	41.3%	60%	45%	60%	38%	60%	65%	70%												